
妄想世界の先

侯華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妄想世界の先

【著者名】

侯華

N3583D

【あらすじ】

平凡な人生・・・それは一番妄想が入りやすいドアだった

毎日毎日同じ事を繰り返していると「夢」もみなくなる。

そんな毎日を送っていた私。「神崎 加奈」

大学生の私は、そんなに明るい方でもなく、友達も多いわけでもない。ルックスも頭も人並みはずれているわけじゃない。一人暮らしという平凡。

勉強して、食べて、寝て。それを繰り返して生きてきた。平凡な人生だった。

ある日そんな人生を狂わせた日があった。

朝。いつものように起きて、いつものように学校に行く。勉強して、ご飯食べて。

その後だった。

いつものように帰宅。テレビをつけると見た事のない番組がやっていた。

「あなたの「妄想」叶えます！「妄想世界」」という番組だ。変わった番組だった。ゲストの一般人が出でくると、その人がいつも妄想することをかなえてくれるというのだ。

私はとても心が引かれた。「こんな番組やっていたんだ」

でも信じていなかつた。妄想をかなえるなんて簡単な事じゃない。芸能人と付き合つてるとか、大金持ちになっているだとか。そんな単純な考えを現実にするなんて無謀だ。「妄想」と「現実」の区別がつかなくなる。ただの騙す番組じゃないか。

しかし、心のどこかで信じている自分がいた。そしてその思いと一緒に心の奥底でおもつていた事が頭の中に流れ込んでいった。

「金持ちになりたい」

「美人になつて芸能人とのスキャンダル」

「私を取り囲む男達」

そのすべてが私を妄想の世界へと引き込んだ。

「神崎 加奈」は世界に誇る会社の社長になっていた。彼氏は、「齊藤 和真」という今話題の俳優だった。机の上にはたくさんの花束。自分が分からなくなっていた。鏡を見るとそこには、見た事のない女性が立っていた。スタイルがよく、一重なきれいな顔立ち。自分だと思わなかつた。

テレビの取材や、雑誌のインタビュー。その予定がたくさん入つていた。

「これは妄想なんだから好きな事やつていいんだ」とそのころはまだ正氣だつた。

それから毎日が楽しくなつた。

浮気 ギャンブル デート ショッピング ディナー
毎日この繰り返しだつた。

しかし。「神崎 加奈」は大事な事を見逃していた。

「これは妄想。現実がいつかまた。現実が待つていてる。」
大事な事を忘れていた。

ある日。アノ番組がやつていた。「妄想世界」

この番組には感謝していると思いながら見ていると、どこかで見た事のある顔の女性がゲストだつた。

「私はアノ日。この番組を見てから・・・自分が帰つてこないんです。」

そう。それは大学生の「神崎 加奈」

社長の「神崎 加奈」は信じられなかつた。「妄想」なんてこともう忘れていた。

するとアノ日からの自分がすべて消えていく。金持ち 男 顔 すべて消えていく。

しかし、現実を見ようとした。その現実から逃げていた。

すると、今までの自分の現実が戻ってきた。生まれて、平凡な人生だつた。しかし「アノ日」が私を変えた。

そうアノ日。アノ日私は・・・

朝家をでて、勉強して家に帰るところだつた。まさか、「死ぬ」な

んて・・・

そう・・・私は「死んだ」

トラックの飲酒運転・・・交通事故で・・・

「なんで私は死ななきゃいけなかつたの?」
しかしなぜ?こんな妄想をしているのか?

「私は・・・もつと生きたかつた・・・」

大学生の神崎加奈が言った。

「タダそれだけだつた。死にたくないつて思つてたら、いつの間に
か家にいて、テレビ見て、こうなつてた・・・これが現実」

社長の加奈は

「今までの事はすべて妄想?じゃあ私のあなたは同じ人物なのね?・
・・受け入れたくなくて。死にたくないくて。・・・私ができた・・・
でも楽しかつた。好きな事やつて。バカやつて・・・
「本当にアリガトウ。あたしも楽しかつた。行こう?加奈」
大学生の加奈は笑つていた。社長の加奈は泣いていた。
二人は手を取り合つた。立ち上がりつて歩き出した。

あの光の中に・・・「本当の自分」を探しに・・・

(後書き)

「どうでしょ? みなさん!... 「妄想」と「現実」はしつかり区別しましょうね^ ^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3583d/>

妄想世界の先

2010年11月30日03時23分発行